

## 教育福祉委員会行政視察報告書

1. 実施日 平成30年1月29日(月)
2. 視察地 豊田市(教育委員会)・豊橋市(教育委員会、こども未来館)
3. 視察項目 小中学校二学期制  
子ども未来館の運営等
4. 出席者  
委員長 伊藤 壽  
副委員長 田原理香  
委員 亀谷 光 富田牧子 山田喜弘  
天羽良明 出口忠雄  
議会事務局 服部賢介係長

### 5. 視察結果報告

#### (1) 視察地の概要

- ①豊田市教育委員会  
学校教育部学校教育課副課長、指導主事  
小中学校二学期制について
- ②豊橋市教育委員会  
学校  
小中学校二学期制から三学期制への移行について
- ③豊橋市こども未来館の利用、運営等について

#### (2) 視察の目的

豊田市では、平成16年4月から実施されている小中学校二学期制は10年を経て検証の後、継続される。また、豊橋市では、二学期制を平成19年度に導入後、検証を行い三学期制に移行させる。このような異なる2市の取り組みについて視察し、可児市で実施する二学期制を考える。

可児市子育て健康プラザが5月に開館することに鑑み、豊橋市子ども未来館の運営等について参考とする。

#### (3) 視察の内容

- ①豊田市教育委員会

学校教育部学校教育課副課長、指導主事  
小中学校二学期制について説明を受けた後、質疑応答

②豊橋市教育委員会

学校

小中学校二学期制から三学期制への移行について説明を受けた後、  
質疑応答

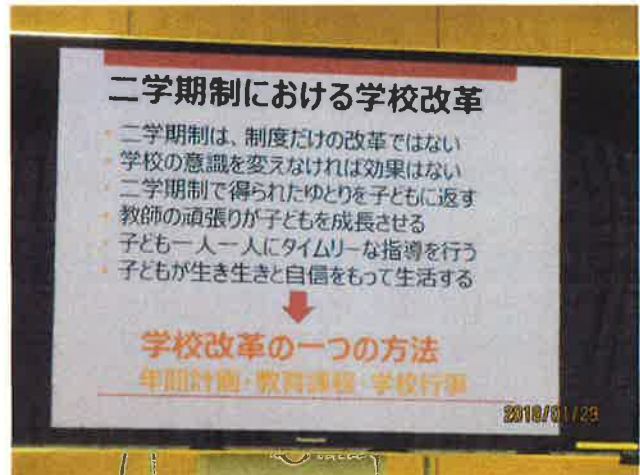
③豊橋市こども未来館の利用、運営等について説明を受けた後、施設  
の視察

(4) 質疑応答 別添資料により、二学期制について、二学期制から三学期制への移行  
について、取り組みや今後の予定、課題など、更に深めるため疑問点  
などを質疑応答を行った。

(5) 考察 (まとめ)

別添のとおり

豊田市



豊橋市



豊橋市こども未来館





## 教育福祉委員会 行政視察（豊田市・豊橋市）について

### 所感①

小中学校の二学期制について、豊田市は、平成 15 年度の一年を掛け検討し、平成 16 年度から導入している。22 年度までの検証では、ほとんどの学校でメリットを実感し、教師・子ども・保護者にも定着しているとのことでした。そして、平成 26 年度に、再検証し、二学期制を継続することとしている。

また、豊橋市では、平成 19 年度に二学期制を導入しているが、平成 28 年度から、アンケートを実施し、今年度、あり方についての検討を進め、平成 32 年度に三学期制に移行することとしている。

そして、制度の変更について委員会を設置し、議論を重ね、アンケート、パブリックコメントを実施し、保護者説明会を実施し、その後、教員に説明会を開催し、周知を図っており、本市と考え合わせ参考になった。

また、本市が実施しようとしている小中学校二学期制について、これら 2 市の視察を通じ、目的を始め、詳細にわたり、参考となった。

### 所感②

#### 1. 三学期制から二学期制に移行した豊田市

- ・十分な授業時間の確保
- ・長期休業を学習期間として有効に活用する。
- ・バランスのよい定期テスト

#### 2. 二学期制から三学期制を検討するに至った豊橋市

- ・学期の区切りがないため、子どもの学習意欲の維持が難しい
- ・基礎基本の定着、適切な評価への危惧

豊田市にしても豊橋市にしても、導入や移行にあたっては、検討委員会、モデル校を設ける等十分な見直しや協議の積み重ねがありました。今回それぞれのメリットデメリットをしっかりと学ぶことができました。

可児市は、この 4 月から二学期制を採用することが既に決まっていますが、そこに至るまでの議論が圧倒的に不足しています。学校現場（教員・生徒・保護者）や地域の声をきちんと吸い上げ、下から議論を積み上げていく必要があります。保護者からの不安の声を多く聴きます。決まってしまった以上は、今からでも遅くありません。何故二学期制を採用するのか、あらゆる方面に丁寧な説明が求められます。

### 所感③

まず、どちらの教育委員会とも、学期制の移行に当たっては、相当な準備期間を持って、実施していたり、また、実施しようとしていた。本市の 2 学期制移行は、昨年 10 月の教育委員との懇談会で初めて出され、山田議員が 12 月議会で質問されたとはいえ、議会に正式な説明もなく、拙速の感を免れない。

また、両市ともに、学期制の移行に当たって一番大切にされたのは、子ども達が生き生きと自信を持って学校生活を送れるように、ということからであって、教師の多忙化解消のようなこと

は、二の次、三の次の話であった。

私が一番気になっていたのも、子どもにとって2学期制がどういう意味を持つのかであったので、2市のお話は、それぞれ納得のいくものであった。

その中で見えてきたものは、2学期制という長いスパンでは、子ども達に学習意欲を維持させ、明確な目標を持って学習させるのが難しいこと、たった3日間の休みでは、前期から後期への気持ちの切り替えが難しいということであった。これらはかなり克服困難な2学期制の欠点である。

平成32年には、新学習指導要領の完全実施があり、両市ともそれに対していかに授業時間数を確保し、子ども達に学力をつけていくにはどうあるべきかということで、2学期制の継続なり、3学期制への移行なりを検討していたので、この視点も本市には欠けているように思われた。

子ども達の現状と、こうあってほしいと願う姿と、新学習指導要領での授業時間数増加に対する計画等総合的に検討をしてから学期制の決定をしてほしい。未だ、そうした検討結果は、議会にさえ示されていないのに、4月から2学期制に移行してよいものだろうか。

#### 所感④

豊田市は3学期制から2学期制に移行するために導入の2年前に推進委員会を立ち上げ、保護者、児童との意見交換調整を先駆けて行ってきた。

2学期を3学期に戻した自治体を分析したり改善策を考え、後に議会にも検討して進めることを表明して学校と議会と行政で時間をじっくりとって行っており本市も子どもたち優先でそれなりの時間をかける必要があると思う。

豊橋市は逆に2学期制を10年やったあと、2年以上かけて3学期制に変える準備をして進める。通知表の回数が増えて大変になることは理解しているが先生たちの都合ではなく子どもたちのことを第一に考えてじっくり進めることが大切だと感じた。

今更なので、子どもたちへの説明だけはしてよく理解をさせてあげて欲しい。

#### 未来館について

職員は口を出さず、自由に親子に使ってもらうという方針が全職員に周知されており、のびのびと利用している。平日でも1,000人から1,500人来館者があるのも納得できた。

遊び心満載で若い世代の人気のスポットとして今後も期待できる。本市でも楽しさ自由さを取り入れて欲しい。

#### 所感⑤

豊田市も豊橋市も児童生徒のことを考えて、二学期制がいいか、三学期制かを考えている。また、大学教授などの専門的知見やモデル校での実施など、十分に準備期間をとっていると思う。

本市の周知期間を含め十分な移行期間であったか確認する必要があるのではないかな。

2018年4月より二学期制を始める羽島市では、前期後期の切り替え時に、10月のハッピーマンデーの後に、夏休みを削ったうちの2日間を持ってこるそうだが、どちらの市も前期後期の切り替えには課題があるとしている。

本市では考えていないようだが検討する必要があるのではないかな。

## 所感⑥

1. 豊田市は3学期制から2学期制に移行するため導入の2年前の平成14年6月に2学期制の研究推進を発表し、平成15年5月推進委員会を設置し、保護者児童との意見交換を実施。10月にはパブリックコメント各学校区で説明会を実施。などキメ細かく改善策を検討され、現在に至っています。

その点可児市においては、あまりにコンセンサス不足です。大至急、関係者・団体等コンセンサスをとって下さい。

2. 豊橋市は、2学期制を10年行った後、その経験を生かし3学期制に変えられました。その間、2学期制という長い期間では学習意欲を維持させること、目標を持って学習すること、が難しいことが発見され、また前期から後期の気持ちの切り替えが難しいことなど、2学期制が抱える問題を検証され、3学期制に変えられた。その決断と実行は見習うべきことと感じました。

可児市では4月から2学期制導入に決定していますが、学校内(生徒・保護者・教員)、学校評議員の皆様と1日も早く議論を徹底的に掲げてください。